

いまこそ、売っていただきたい1冊です！
トランスジェンダーを知る、金字塔的エッセイが邦訳



ヨーロッパ近世において王子が受けるべきむち打ちを受ける役の少年のことをウィッピング・ボーイと言った。現代ではスケープゴートの意味で使われる。トランスジェンダーの女性には同じことが起こっていると訴えるという著者は、女性嫌悪（ミソジニー）の表出として、女性性を表現する MTF のトランスジェンダーの女性がスケープゴート化されていると指摘する。

トランスフォビアやトランス差別と、女性差別の問題の根っこは同じだ。トランスジェンダー・アクティビストの著者が、トランスジェンダーの女性をウィッピングし続けるメディア、アカデミズム、作家、医療体制、社会、えせフェミニズムを徹底追及した怒涛の 20 章がついに邦訳。

これはトランスジェンダー女性が見ている風景だ。そしてここかフェミニズムの新たな一歩が始まる。
三木 那由他 (哲学者)

ウィッピング・ガール
トランスの女性はなぜ叩かれるのか

著：ジュリア・セラーノ (Julia Serano)、訳：矢部 文 (やべ・あや)

本体：2,700 円+税、ISBN：978-4-909125-40-8、四六判、430 ページ・並製・1C

2023 年 5 月 16 日発売、ジャンル：一般書 (人文・ジェンダー・LGBTQ+)、発行・発売：サウザンブックス社

FAX : 03-6276-6016 (サウザンブックス社)

<p>ウィッピング・ガール トランスの女性はなぜ叩かれるのか</p> <p>ISBN : 978-4-909125-40-8 本体 : 2,700 円+税</p>	<p>ご注文数</p> <p>冊</p>
---	----------------------

※取次経由か直取かをお選びください

<p>【取次】【買切】 サウザンブックス社の取扱 い取次は八木書店ですが、トーハン・日販・楽天など すべての取次経由でもご注文いただけます。</p>	<p>【直取】【買切】【返条】 商品と請求書を同梱し、ご指定のご住所にお送り致します。 卸正味：70% (返品の際は FAX かメールにて返品理由をお知らせください)</p>
<p>貴店名 (番線印)</p>	<p>貴店名：</p> <p>ご住所：〒</p> <p>電話： FAX：</p> <p>Mail： ご担当者名： 様</p>